

# ウィザス

「ウィザス」はウィズ・アス=with us  
「共に生きる—男女共生社会」  
の理念をあらわしています。

## ワーク・ライフ・バランス

パパも一緒に!



**秘密厳守 女性相談** 面接相談  
相談予約電話 Tel. 38-2022 (要予約)

～ご相談には、予約が必要です～

■日 程 ①第1土曜日②第1～4金曜日  
■時 間 ①午前10時～正午(1人50分)  
②午前11時～午後4時(1人50分)  
■内 容 女性が抱えるさまざまな悩み  
※一時保育(無料)あり(要予約)

## 「男女共同参画週間」(6/23～29) 記念事業

男女が互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成に向け、「男女共同参画社会基本法」が平成11年6月23日に公布・施行されています。

この法律の目的及び基本理念の理解を深めるため、「男女共同参画週間」が設けられ、この週間にちなみ、全国的に男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事等が実施されます。

### 男女共同参画週間記念事業 映画会「別離」



2011年・イラン/123分(字幕)/無料

- 日 時 6月22日(土) 午後2時～4時15分  
ルナ・ホール
- 会 場
- 定 員 先着600人(要整理券)  
※一時保育・先着20人  
(2歳以上就学前児)
- 申し込み 6月7日(金)までに、往復はがきに住所・氏名(参加者全員・1枚で2人まで)・電話番号を記入し、下記へ。  
※一時保育(1人300円)希望のあなたは、子どもの名前・年齢月齢をご記入ください。

©2009 Asghar Farhadi

男女共同参画センター Tel. 38-2023 (〒659-0065 芦屋市公光町5-8)

### 一時保育つき大人の読書タイム

子育て中の皆さん、毎月2時間、ゆっくり本を読んでみませんか? あなたの読書中、お子さんはウィザスあしやの保育室でお預かりします。

- 日 時 6月18日(火)・7月16日(火)・8月20日(火)  
①午前10時～正午②午後1時～3時 ※①②各・先着4人
- 会 場 男女共同参画センターウィザスあしや
- 対 象 子育て中の親(祖父母を含む)と子ども(2歳以上就学前児)
- 一時保育 1人300円 ※午前・午後とも先着各4人
- 申し込み 各月の1日から、電話(Tel. 38-2023)でセンターへ

### 編集後記

ウィザスあしやが公光町に移転しました。以前の場所には、18年間、男女共同参画センターがありました。私がセンターに関わったのはそのうちの10数年ほどですが、その間の出来事、出会った人たちのことが、昨日のこのように思い出されます。

新しい場所での活動は、希望3割、不安7割というところでしょうか。何事も新しく始めるときは不安がつきもの。お世話になった人に感謝しつつ、新しい場所でも一生懸命活動していきたいと思えます。(村上)



新しいセンター(公光分庁舎・北館)

**特集**  
公光町に移転しました!  
ウィザスあしや  
(芦屋市男女共同参画センター)

### 新しい男女共同参画推進の拠点

平成二十五年四月、芦屋市男女共同参画センターウィザスあしや、大原町から公光町に移転しました。以前は大原町の二階で業務を行っていましたが、公光町にあった旧芦屋開発株式会社本社ビル跡を改修し、このたび男女共同参画の推進を目的とした施設の設置に伴って移転したものです。この移転は、平成二十年に制定した「芦屋市男女共同参画推進条例」に、「市は、男女共同参画推進施策を実施し、市民等による

男女共同参画の取り組みを支援するため、総合的な拠点施設を整備する」との条項を設け、近い将来のいつか、男女共同参画推進の拠点を整備しようという当時の構想を一つ実現したものです。もちろん、施設の設定で終わるのではなく、今後とも引き続きさまざまな事業を進めるとともに、団体や市民の皆さんにも男女共同参画推進への取り組みに大いに活用していただけることを願っています。また、今回同じ建物の二階に、市民参画と協働の推進を図るため、あしや市民活動センターが設置されました。広く市民活動を支援するための施設ですので、芦屋の市民活動がより活発に進められるようご利用ください。



絵 A.S

## ウィザス No.73

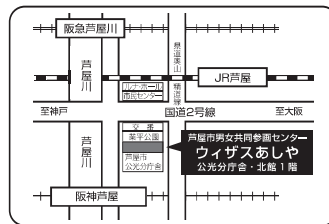
■平成25年6月発行(夏号)

編集発行 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

〒659-0065 芦屋市公光町5-8(公光分庁舎・北館1階)  
Tel. 0797-38-2023/FAX 0797-38-2175  
Eメール jousei-ce@city.ashiya.lg.jp

■開 館: 月曜日～土曜日・午前9時～午後5時30分  
■休 館: 日曜日・祝日・年末年始(12月28日～1月4日)

ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/danjo/withus/centerwithus.html>





セミナー室

### ◆ご利用案内◆

男女共同参画センターでは、さまざまな市民向け講座を開催しています。また、男女共同参画を推進する目的の会議にも利用可能です。申し込み方法等、詳細はセンターへお問い合わせください。

■セミナー室 \*46㎡/定員・28人~48人(イス席のみ)  
《施設使用料》

午前9時30分~正午	1,200円
午後1時~午後3時	1,000円
午後3時~午後5時	1,000円

■開館 月曜日~土曜日・午前9時~午後5時30分  
■休館 日曜日・祝日・年末年始(12月28日~1月4日)

男女共同参画センター ウィザスあしや Tel.98-2023

### ●相談室

第1~4金曜日に第1土曜日に、心の悩みや家事相談等女性が抱えるさまざまな悩みに、女性の相談員が面談して、気持ちの整理のお手伝いをします。(予約制)  
また相談中一時保育が必要なたには、事前のご予約で、お子さんは保育室でお預かりします。(熊切)

### ■編集委員紹介■

芦屋市男女共同参画センター通信「ウィザス」は、現在、市の職員と次の5人の市民ボランティアで編集しています。

■村上 ウィザスの前身「エメラルド」から編集委員(平成12年)、登録団体の「ディベートを楽しむ会」代表。

■菅 ウィザスの前身「エメラルド」から編集委員(平成17年)。本紙ウィザスのイラストも担当。

■上田 平成19年からウィザス編集委員。斬新なアイデアを、惜しげもなく提供するアイデアウーマン。

■熊切 平成21年からウィザス編集委員。毎月まで編集会議に参加。現在は、子連れ参加のパワフルウーマン。

■豊嶋 平成22年からウィザス編集委員。講座参加がきっかけで、その後編集に参加。趣味は、土いじり。

# どんなところ?

# ウィザスあしや 新・男女共同参画センター

- 4月15日(月)から、新しい公光分庁舎での男女共同参画センター業務が開始されました。
- 今回は、市民ボランティアとしての編集委員の目で、見たままの新センターをご案内します。
- 新しくなったウィザスあしや(男女共同参画センター)で、あなたも活動を開始しませんか?



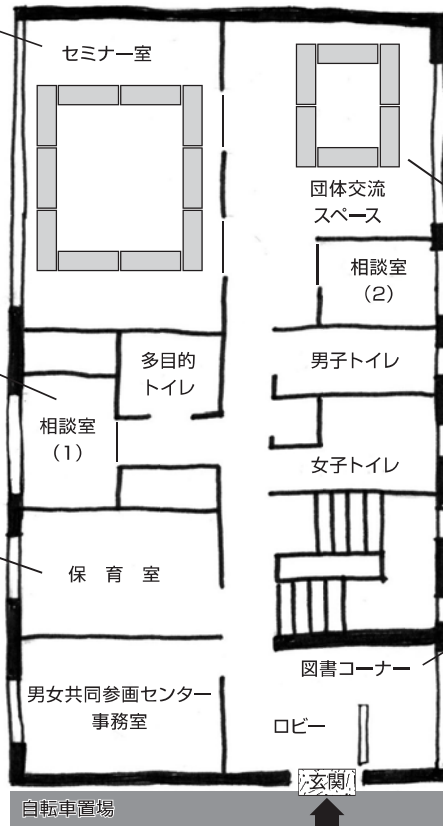
### ●セミナー室

□の字型や教室風に机を並べ替えられ、多目的な利用に対応できるお部屋です。30人規模の講座やセミナーのほか、毎週月曜日には子育て支援事業(ぶくぶく)にも活用されています。この部屋は有料ですが、登録団体には減免制度が適用され、利用しやすくなっています。芦屋川に面した西側は全面ガラス張りで、外の景色や植栽のみどりごころを落ち着かせてくれる、抜群のロケーションとなっています。(熊切)



### ●保育室

カラフルでかわいい壁や床、おもちゃもあり、子どもたちが楽しく過ごせるお部屋です。主に講座や相談のときに、2歳以上就学前の子どもの一時保育の場として使われます。保育サポーターさんに見てもらえるので、パパやママは安心して講座や読書に集中できます。(熊切)



### ●団体交流スペース

玄関から廊下をまっすぐに進み、その突き当たりにあるオープンスペースが「団体交流スペース」です。18席のイス・机・ホワイトボードがあり、登録団体の皆さんは、事前に申し込み、無料で活用できます。このスペース北側の壁面の「情報ボード」には、登録団体の催しやお知らせを掲示することができます。団体間の交流や会議に、気軽に活用できる空間です。(熊切)

※男女共同参画センターの蔵書は、①基本資料・参考図書のほか、②男女の自立・共生、③女性史・世界の女性、④女性論・フェミニズム、⑤女性と社会、⑥労働・職業、⑦結婚・家族、⑧性・からだ、⑨子ども・教育、⑩高齢化社会、⑪芸術・表現、⑫文学・ノンフィクションのAからLに、12分類されています。

### ●図書コーナー

男女共同参画に関する本や情報誌のほか、子育てや高齢化・少子化社会についての本などがあります。1回2冊まで、2週間借りることができます。一度、のぞいてみてね!! (熊切)

新しくなった  
ウィザスあしやへ  
行ってみよう!!



### 新センター 見聞記

新しい「ウィザスあしや」は、以前より広さは少々狭くなってはいますが、それぞれの部屋が使いやすいように工夫されています。

以前は1つしかなかった相談室が2つに増えました。この相談室は女性相談に使用します。

また、保育室にも工夫がされています。壁紙は飛行機や雲をあしらったかわい柄で、床にはじゅうたんが敷かれています。

このほかにも、以前はセンター外の共同トイレを利用していましたが、新しいセンター内には男女別と多機能トイレがあり、多機能トイレは「赤ちゃんの駅」にも活用されており、おむつ替え用ベビーシートがあります。また、男性トイレ内にもイクメン用のベビーチェアが備えられています。

しかし、何といても特筆すべきは環境の良さです。センター西側には芦屋川が流れ、北側には六甲山系が見えます。壁いっぱい広がる窓からは、日差しがふんだんに差し込んで、気分も明るくなります。

建物の快適さだけに満足することなく、中身である事業内容や、市民の利用頻度、そして芦屋における男女共同参画の推進などを充実させてこそ、建物が生きてくるのです。新しい「芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや」を、今まで以上に充実させたセンターにしていきたいですね。(村上)



保育室の壁紙